

日本周産期・新生児医学会 第37回周産期学シンポジウム演題募集要項

テーマ：胎児診断から始める治療戦略

会 長：臼井規朗（大阪府立母子保健総合医療センター*小児外科主任部長）

*施設名は2017年4月1日より「大阪母子医療センター」に変更となります。

会 期：2019（平成31）年2月8日（金），9日（土）

会 場：大阪国際会議場

演題募集

今回、周産期学シンポジウム運営委員会では新生児医療に繋がる胎児診断・治療に注目しました。近年、超音波検査やMRIなどの進歩により、多くの先天性疾患が胎児診断（出生前診断）されるようになりました。かかる疾患は消化管の閉鎖症、胎便性腹膜炎などの消化管疾患、胎児胸水、嚢胞性肺疾患、先天性横隔膜ヘルニアなどの胸部疾患、水頭症、脊髄髄膜瘤などの中枢神経疾患、その他、腎・尿路系疾患、先天性心疾患など多岐にわたります。正確な胎児診断・評価は、産科、新生児科、新生児外科、そして麻酔科等が関わり、分娩時期・方法、出生後の管理方針を検討することにより、胎児・新生児期の一貫した集学的医療が可能となり、予後の改善が期待されます。さらに、診断技術の向上とともに胎児治療も進んできました。現在は胎児胸水や一部の嚢胞性肺疾患、水腎症などが対象ですが、安全性、有効性を評価した上で、出生後の治療では予後改善が期待できない疾患に対する新しい胎児治療も研究されています。

そこで、第37回周産期学シンポジウムでは「胎児診断から始める治療戦略」として、予後改善を目指した胎児診断と胎児・新生児治療に関連した演題を広く募集します。なお、双胎間輸血症候群に対するレーザー治療、Twin-reversed arterial perfusion (TRAP) sequence に対する血流遮断術については、今回は除外することとしました。発展性のある意欲的な研究課題の応募を希望します。

キーワード

胎児画像診断、出生前診断、胎児治療、EXIT、新生児治療、予後、麻酔、新技術、実験的研究、先天性水頭症、ガレン大静脈瘤、脳動静脈奇形、頸部嚢胞性疾患、先天性嚢胞性肺疾患、先天性横隔膜ヘルニア、胎児胸水、胎児水腫、先天性心疾患、消化管閉鎖症、胎便性腹膜炎、臍帯ヘルニア、腹壁破裂、腎嚢胞、先天性水腎症・水尿管症、下部尿路閉塞、脊髄髄膜瘤、仙尾部奇形腫、胎児不整脈、胎児貧血、胎児甲状腺疾患

応募要項

1. 応募書類：「応募用紙」「抄録用紙」「発表者の利益相反自己申告書*」の3点です。下記URLよりデータをダウンロードしてください。

1) 応募用紙：http://www.jspnm.com/syukai/doc/oubo_37.xlsx

2) 抄録用紙：http://www.jspnm.com/syukai/doc/syoroku_37.docx

3) 発表者の利益相反自己申告書：http://www.jspnm.com/syukai/doc/rieki_37.docx

*利益相反指針及び指針細則は以下のURLを参照ください。

<http://www.jspnm.com/aboutgakkai/pdf/rss120622.pdf>

2. 応募演題の注意点

- 1) 同一施設からの応募数に制限はありませんが、同一発表者は複数の演題を応募できません。
- 2) 発表者は原則として会員かつ単名に限ります。なお、共同研究者等の名前を示す場合は、演題発表の際に謝辞等として示してください。
- 3) 演題は、前向き・後ろ向き研究に関わらず、倫理委員会・Institutional Review Board等の承認を受けてください。

3. **応募方法**：「応募用紙」「抄録用紙」「発表者の利益相反自己申告書」を、E-mail の添付文書として学会事務局宛、件名は「第37 回周産期学シンポジウム応募演題」として送信ください。

4. 応募用紙

- 1) **【「応募用紙.xlsx」への入力に関する注意】**に沿って作成ください。
- 2) 応募用紙のファイル名は「発表者名-応募用紙.xlsx」としてください。

5. 抄録本文

- 1) 抄録本文は、目的～考察：1,600字以内＋今後の研究計画：200字以内（文字数厳守）、図表不可とし、MS Word形式で保存してください。
- 2) 文字数のカウントは、見出しを含めた本文をMS Word「文字カウント」（校閲タブもしくはツールタブにあります）を用いて、「文字数（スペースを含める）」に返された数とします。
- 3) 目的、方法、結果、考察、今後の研究計画の順に記載ください。
- 4) 個人情報や生命倫理等、特に倫理的配慮を必要とする研究である場合は、行った具体的配慮について記載ください。
- 5) 抄録本文のファイル名は「発表者名.docx」としてください。

6. 発表者の利益相反自己申告書

- 1) **【利益相反に関する自己申告書の提出】**に沿って作成ください。
- 2) 利益相反自己申告書のファイル名は「発表者名-利益相反.docx」としてください。

7. **演題送信先**：info@jspnm.org（日本周産期・新生児医学会事務局）

8. **応募締切**：2017 年10月16日（月）12：00 厳守

9. **問合せ先**：日本周産期・新生児医学会事務局

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-30 メジカルビュー社内

TEL：03-5228-2074 FAX：03-5228-2104 E-mail：info@jspnm.org

*演題受付後、1週間以内に事務局より「受付メール」をお送りいたします。連絡がない場合は事務局に問合せください。

*応募演題は周産期学シンポジウム運営委員会による書類選考、一次選考、最終選考を行い、2018年6月末日までに第37回 周産期学シンポジウム口演演題として決定する予定です。

*書類選考：演題応募者には、2017年11月15日（水）までに書類選考結果をお知らせいたします。

*一次選考：書類選考通過者は、2017年12月8日（金）の一次選考会（東京）に出席いただきます。一次選考会では、スライドを用いたプレゼンテーション（7分間）と、運営委員との質疑応答（8分間）を行います。一次選考会終了後、選考結果をお知らせいたします。

応募者が出席できない場合は、演題が不採択となる場合があります。

*最終選考：一次選考通過者は、2018年6月の最終選考会（東京）で一次選考と同様の方法で選考を行います。最終選考会終了後、最終結果をお知らせいたします。

【「応募用紙.xlsx」への入力に関する注意】

1. 必要事項はすべて入力ください。
2. 非会員の方は速やかに入会手続きをお願いいたします。学会ホームページより手続きできます。

問合せ先：日本周産期・新生児医学会事務局

<http://www.jspnm.com>

TEL：03-5228-2074 FAX：03-5228-2104 E-mail：info@jspnm.org

【利益相反に関する自己申告書の提出】

日本周産期・新生児医学会が定めた利益相反指針及び指針細則に則り、「発表者の利益相反自己申告書（様式1-3）」の提出が必要となります。

原則として利益相反の有無は演題の採択には影響しません。

演題が採択された場合、利益相反状態の有無にかかわらず、発表演題の最初のページ（スライド）に利益相反状態を明記してください。記載例を以下に示します。

◆利益相反状態にない場合の記載例

筆答演者氏名：〇〇〇〇

研究責任者：〇〇〇〇

所 属：△△△△産婦人科

私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態はありません。

◆利益相反状態にある場合の記載例

筆答演者氏名：〇〇〇〇

研究責任者：〇〇〇〇

所 属：△△△△産婦人科

私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態は以下のとおりです。

- ・報酬額/ 〇〇製薬株式会社
- ・講演料/ □□製薬株式会社
- ・原稿料/ ◇◇製薬株式会社
- ・研究費・助成金（寄付講座所属）/ 株式会社××

2017年3月

日本周産期・新生児医学会
周産期学シンポジウム運営委員会